

教材名 漢字が読めるかな！

作成者
角田しず子

学年 小学部 6年
授業名 寄宿舎の学習



児童の実態

本児は、漢字に注目する児童である。小学部低学年から、電車の駅名を読むことが得意であった。

ねらい

漢字を一文字ずつ注視することで、正しい読みができる。

教材の使い方

一文字ずつ枠の中の漢字を読み上げる。

工夫したこと

- 穴のあいた紙片を動かしながら読む方法を用い、1つずつの漢字に注意が向けられるようにした。
- 読みにくい場合は、矢印 → を用意し、利用した。

児童の様子

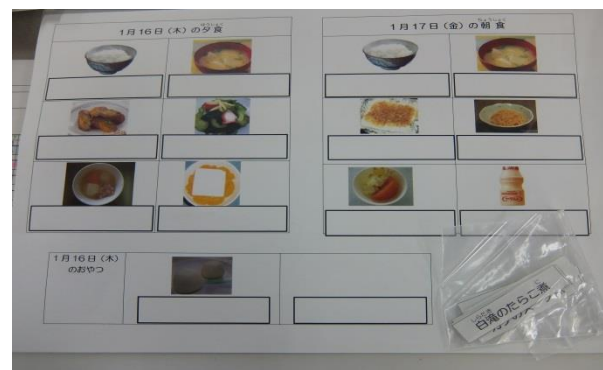
- 小学校1年生の漢字は、ほぼ読めるようになった。
- 2年生の漢字については、読めない漢字があったが、学習を繰り返すと読める数が増えた。



教材名 指を使おう！

作成者
小菅 夏美

学年 小学部 1年
授業名 寄宿舎の学習



児童の実態

- 指先の力が弱く、物を落としたり、しっかり物を持ったりすることが難しい。
- 指先で物をつかむことが難しく、指の腹の部分で、物をつかむ。
- 平仮名・片仮名を読むことができる。

ねらい

指先でシールを持ち、真っすぐ貼ることができる。

教材の使い方

1. マッチングする。
 - 食べ物の写真と文字のシールをマッチングさせる。
2. 文字のシールを貼る。
 - 食べ物の写真の下にある枠の中に、文字のシールを貼る。

工夫したこと

- 食べることが好きな本児のため、寄宿舎での朝食・おやつ・夕食のメニューを教材とした。
- 平仮名と片仮名は読めるため、手元を見ずに貼る。手元を注視できるように、文字のシールには、振り仮名を振った漢字を使用した。

児童の様子

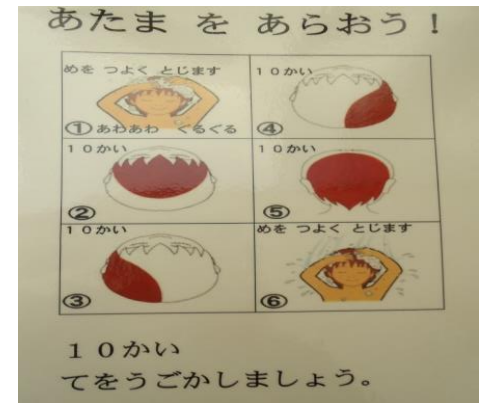
- 文字のシールを両手で持ち、枠の中に真っすぐ貼ることができるようになってきている。
- 食べ物の教材を使用したことで、嫌がることなく学習に取り組むことができていた。



教材名 洗髪が上手にできるようになるために（手順表）

作成者
中田 明斗

学年 小学部 4年
授業名 寄宿舎の学習



児童の実態

目に水やシャンプーが入る心配から一方の手で顔を隠し、もう一方の手での洗髪になっているため、十分な洗髪ができない。

ねらい

- イラストと回数入りの手順表を用いることで、洗う場所を視覚的に確認しイメージをもたせる。
- 実際に手を動かしながら手順表を確認することで、上手に洗髪ができる。

教材の使い方

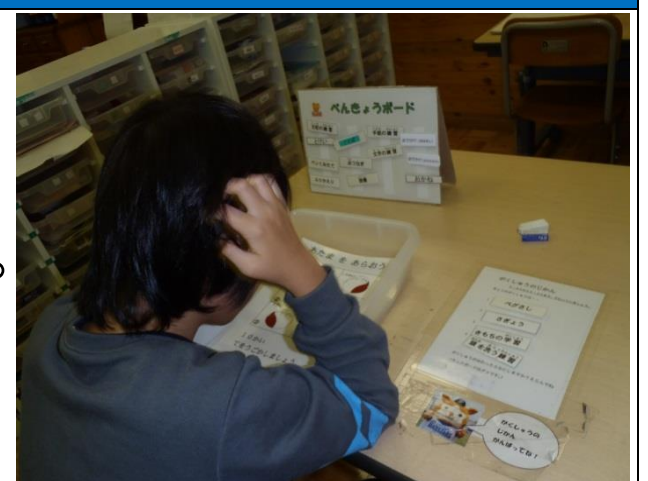
- 手順表を読む。
 - 声に出して読み、洗う順番を確認した。
- 手を動かして手順通り擦る。
 - 洗う場所のイメージがもてるように実際に手を動かす。

工夫したこと

- 段階的に手順を分けて、手順表を提示し確認を行った。
- 手順表の上に回数を示し、具体的に何回行うか分かるようにした。
- 実際に手を動かすときには、擦る場所が定着するまで手を添えて支援した。

児童の様子

- 手順通りに進めると、最後の項目で本児なりにイメージがもてたようで、「シャワーじゃー」など、手順表に表記していない台詞が出てきた。
- 入浴では、声を出して手順通り洗おうとする姿が増え、洗髪ができるようになってきている。



教材名 ろうそく「ふー！」

作成者 瀧口 智子

学年 小学部 4年
授業名 寄宿舎余暇活動



児童の実態

言葉で要求を伝えようとしたり，簡単な言葉を模倣したりするが，発音が不明瞭である。

ねらい

遊びながら，楽しく息を吹く練習をする。

教材の使い方

- ろうそくを置く。
 - ろうそくのイラストが貼ってある場所に一つ置く。
- 「ふーっ！」という言葉掛けと共に息を吹く。
 - ろうそくが箱の中に入るまで繰り返し吹く。

工夫したこと

- 本児が好きな食べもの（ケーキ）の写真を箱に貼り付け，誕生日会ケーキのろうそくを消すかのように見立てた。
- “終わり”が分かるように，箱に穴を開けろうそくが全部なくなったら終わりにした。

児童の様子

- 息を強く吹いたり弱く吹いたりして，調節しながら穴の中に入れようとしている様子が見られた。
- 「ハッピーバースデートゥーユー♪」と歌った後に息を吹き，ろうそくが落ちると拍手して，楽しく取り組めた。



教材名 明日の給食なあ～に？
(拡大献立表)

作成者
中田 秀子

学年 全幼児児童
授業名 給食



児童の実態

- 文字が読める子供も、まだ読めない子供も、動物のキャラクター入りの大きな献立表に興味を示している。
- その日の給食を食べ終わると、翌日の献立を確認しに来る子供が多い。
- 献立表を見ながら、リクエストカードを記入する子供もいる。

ねらい

- 献立表を見て、明日以降の献立を楽しみに待つことができる。
- 献立表を指さし、声に出して読んで、文字と言葉の理解を助ける。
- 日にち（カレンダー）の理解や、時間（昨日・今日・明日）の概念形成ができる。

教材の使い方

1. 今日食べた給食（過去）と、明日以降の給食（未来）を確認することで、時間の学習をする。
2. 日付や曜日などの学習に活用する。
3. 食べ物や料理の名前の学習に活用する。

工夫したこと

- ポスター用の額に入れ、低いテーブルの上に置くことで、子供が指さしながら見ることができる。
- 献立表を子供の目線に合わせて置き、献立を意識させる。
- リクエストメニューは文字の色を変えて強調している。

児童の様子

- 給食と献立表の両方を意識するようになった子供が増えた。
- 献立表を読む機会が増えたことで、読める文字が増えた子供が多数見られるようになった。
- 翌日の献立を確認しに来る子供が増えた。



教材名 きょうのおねつ

作成者 恒次 律枝

学年 全幼児児童
授業名 保健室・寄宿舍



児童の実態

体温測定の結果を担当，寄宿舍指導員，養護教諭，看護師らが，口頭で伝えていた。

ねらい

体温がどのくらいなのか，体温が示す身体の状態はということなのかを知ることができる。

教材の使い方

1. 体温を測る。
2. 測定結果の数字と同じ数字のところに，矢印を合わせて貼る。
 - 数字が読める幼児児童は，自分で矢印を合わせて貼る。

工夫したこと

- 「元気」「注意」「発熱」の3段階に分け，信号機と同じ色分けにして示した。
- 身体の状態をイメージしやすいイラストを使った。
- 誰でも，繰り返し使えるように，矢印をマジックテープで動かせるようにした。

児童の様子

- 微熱のため外出できないことを理解し，納得した児童や，熱があることが分かり，自分からベッドで横になった児童がいた。



教材名 男の子・女の子の体の違い
(性教育教材)

作成者 手島佳寿美
 柘植 美文
 室田 義久

学年 小学部5・6年生

授業名 「男の子・女の子」



幼児・児童の実態

- ・前年度までに、男女の違いやプライベートゾーンについて学んだことがある。
- ・教師や友達の体に必要以上に触れてしまったり、人前で自分の下着の中に手を入れたりしてしまうことがある。

ねらい

- ・男女の体の違いについて知ることができる。
- ・プライベートゾーンについて知り、友達への正しい接し方を考えることができる。

教材の使い方

1. イラストを見て、男女の体の違いやプライベートゾーンについて知る。
2. 身近な人を男女に弁別する。

工夫したこと

イラストや身近な人の写真を活用することにより、視覚的理解を促すと同時に、興味・関心をもちながら授業に取り組むことができるようにした。

幼児・児童の様子

以前にも同じような内容を学んだことがあったため、自信をもって発言する子どももいた。また、視覚的に分かりやすいイラストや写真の活用をしたり、身近な友達や教師について取り上げたりしたことで、興味・関心をもち取り組めた。

